

テキスタイルに挑戦

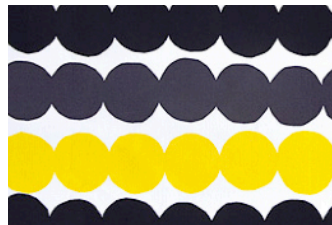
さて、第2弾の課題は、割付文様と少し関連付けて「テキスタイル」について学習をしてみます。テキスタイルとは、主にアパレルやインテリアの業界で用いられる言葉で、織物（布地全般）やその柄のことを言います。今回はそのリピータブルな“柄”について、あるデザインコンペのテーマに沿って取り組んでみたいと思います。皆の柔軟なアイデアが形になることを期待します！

有名なテキスタイルパターン の一例

marimekko (マリメッコ)

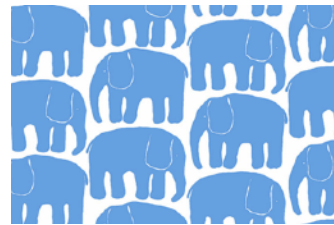


Unikko



Rasymatto

Finlayson (フィンレイソン)



ELEFANTTI

JOHANNA GULLICHSEN (ヨハンナ・グリクセン)



Doris, Nereus e.t.c.



鈴木マサル



MOOMIN TRIBUTE WORKS

マインドマップを描いてみよう

デザインコンペのテーマは “Beauty, that I would miss”

いつか失われるかもしれない、美しいもの

です。

わお、なんて壮大かつ繊細な…。 さて、逆説的に言えば、君たちが思うその「失いたくない美しいもの」を、思考力と想像力を膨らませ、自分にとってのそれが何なのかを見つけてみましょう。そのための1つのツールとして、今回はマインドマップという手法を活用してみたいと思います。マインドマップでは、表現したい事柄を中央に置き、そこから放射状にキーワードやイメージをつなげ、広げていくといった手法をとります。そうすることで、思考を整理し、発想を広げ、それらを掘り下げることができるというわけです。詳しくは、参照WEBサイトや動画で確認してください。

ひとまずは、具体的な図柄ではなく、マインドマップとそこから見つけ出した「何か（いつか失われるかもしれない、美しいもの）」を提出の対象とします。